

下水道と豊かな生活

結城市結城中学校 一年 須藤 花椰

普段、私たちが生活の中で、使っているトイレを流した水や、お風呂で使った水は、どこに流れていくのか、下水道という言葉は知っていたけど、どんな働きをしているのか気になったので、調べてみることにしました。

下水道とは、都市部の雨水や汚い水を、地下水路などで集めた後に公共水域へ排出するための施設・設備の集合体です。もしも水道が止まったらスーパーやコンビニに行けばペットボトルが売ってるし、給水車が来て水を運んでくれます。もしも電気が使えなくなったら、かいちゅう電灯やろうそくで明かりをとますことができます。もしガスが止まったら、まきで火を燃やしてお茶をわかしたり、料理をすることもできます。でも、もし下水道が使えなくなったら、わたしたちが暮らす街の機能は、ほぼ止まってしまう。トイレも使えなくなるし、家や学校、ビルから出

る汚れた水は流せなくなつてしまします。街には汚物があふれ、汚れた水を川や海に流すことになつてしまします。つまり下水道は、他のものでは代わりのきかない二十四時間働き続ける、大切な存在なのです。もしも下水道がなかつたら、雨水を川にかすことができませぬ。もしたくさんの雨がふると、どんどん水がたまつてしまひ、家の中や街が水びたしになつてしまつたり、汚れた水がそのまま川や海へ流れてしまつと、生き物が死んでしまつたり、すめなくなつてしまします。このようなことがおこらないよう、下水道があるのです。そんな下水道には、大きく分けて三つメリツトがあります。一つ目は、生活環境の改善です。下水道の整備より、トイレは水洗化され汚れた水が溜まらずに速やかに取り除くことで、蚊やハエなどの害虫や悪臭の発生を防ぐことができ、街が清潔に保たれ、快適で安心な生活環境が確保されます。二つ目は、家などが浸水するのを防ぐ役割がある

です。都市に降った雨水を下水管をつないで河川へ取り除き、浸水から街を守ります。三つ目は、汚れたままの水を川に流すと、生き物が死んでしまったり、自然破壊につながったりするのを防ぐ役割です。家庭などから排出される汚れた水を下水処理場で浄化してから川に放流することで、河川や海等の水質の保全を守ります。東京湾は外洋に接していないことから自然の浄化能力が弱いので、その分、下水処理では高度処理という

手法でよりきれいに浄化しています。次に、下水道は何故必要なのかです。人間は飲み水が必要です。何かの本に書いてありました。動物は食料より水分が重要なのです。人間も動物である以上同様に、水が近くにないと生きていけません。最後に日本の下水道の歴史です。日本では、昔から尿を農作物の肥料として用いており、ヨーロッパのように、尿を直接川に流したり、道路に捨てるということはありませんでした。しかし、明治時代

になって、人々が東京などの都市に集まるよ
うになると、大雨によって家が水に浸かっ
たり、低地に流れないで溜まったり、たまたまの汚れた
水が原因で伝染病がはやりたりするよう
になりました。そこで、明治十七年、日本では
じめての下水道が東京で作られました。その
後、いくつかの都市で下水道が作られたもの
の、全国に普及することにはなりませんでし
た。本格的に下水道が整備されるようになっ
たのは、第二次世界大戦後、産業が急速に発
展して、都市への人口の集中が進んでからの
ことです。また、産業の発展に伴い、昭和三
十年頃から、工場等の排水によって河川や湖
沼などの公共用水域の水質汚濁が顕著となり
ました。そのため、昭和四十五年の下水道法
の改正により、下水道は町の中を清潔にする
だけではなく、公共用水域の水質という重要
な役割を担うようになりました。

下水道について調べていくと、下水道に流
れた水が下水処理場でキレイな水に処理され

て、川に放流されているということが分かり
ました。下水道のおかげで私たちは、清潔で
快適な生活を送れると共に、きちんと下水処
理場で処理をすることで、自然環境も良くな
ることが分かりました。下水道は私たちにと
って、とても大切な物なんだなと改めて思い
ました。